

Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること

◆科目4 基礎：新たな視点（対象：全教員）

①地域における介護実践 ②チームケアを推進するためのマネジメント

目的・ねらい	(1) 求められる介護福祉士像を志向して介護福祉教育を展開するために、新カリキュラムにおいて教授が求められる地域における介護実践について理解する (2) 求められる介護福祉士像を志向して介護福祉教育を展開するために、新カリキュラムにおいて教授が求められるチームケアを推進するためのマネジメント方法について理解する
講師	(1) 井上 善行／日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科 (2) 新口 春美／金城大学 社会福祉学部
研修概要	(1) ・新カリキュラムにおける「対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上」の観点の教育上の展開 ・地域共生社会の実現に資する介護福祉実践の理解 (2) OJT、OFF-JT、ティーチング、コーチング、スーパービジョンなど人材育成の方法を概説する。
時間数	(1) 40分／(2) 20分 計60分
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通1) 「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書 ～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・ 共通2) 「介護福祉士養成課程新カリキュラム教育方法の手引き」 ・ 共通3) 「介護福祉士養成課程における修得度評価基準の策定等に関する調査研究事業報告書」 ・ 「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」最終とりまとめ（令和元年12月26日 地域共生社会推進検討会） ・ その他

本科目では、介護福祉士の教育内容の見直しにおいて提示された5つの観点のうち、①「対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上」および②「チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充」の2点の理解を深めることを目的として授業を展開した。

(1)については、「地域における介護実践」というテーマで、利用者に対する介護実践そのものが地域で展開されていることの利用者にとっての意義の理解を図った。まず、コミュニティにおけるつながりがソーシャルサポートの重要な位置づけを担っていることについて説明した。次に、そうしたコミュニティにおける他者とのつながりが意味するところとして、利用者自身が「役割をもっている」と実感し、他者のために活動する機会をもつという、質の高い生活の一部として欠くことのできないものであることを説明した。そのうえで、教育の意図として、施設内・家庭内だけで完結しない対象者の役割づくりを検討すること、利用者が地域においてどのような役割を担っているかを発見することについて、授業で展開する必要性を示した。

(2)については、「チームケアを推進するためのマネジメント」というテーマで、チームマネジメントが介護福祉士のカリキュラムにおいて必要とされた意図および全体像の理解を図った。この点

については、旧カリキュラムでも「コミュニケーションを基盤としたチームケア」が重要視されていたところ、そのチームケアを実践するためのマネジメントの視点を導入したのが今回のカリキュラムの改正におけるチームマネジメントの主旨であることを説明した。チームマネジメントにおいて欠かせない要素として「チームの目標の明確化と共有」「目標達成に向けたケアの展開」というチームの目標達成の重要性、それを左右する介護職のモチベーションを向上させるために必要なものが「リーダーシップとフォロワーシップ」であることを説明した。また、チームマネジメントにおけるもう一つの柱であるキャリア開発の支援としての人材育成と自己研鑽の必要性についても説明した。今回のカリキュラム改正では、介護福祉士が介護チームにおいて中核的な役割を果たすことができるよう養成する必要があると見直しがされた。その役割を発揮していくためにリーダーシップやフォロワーシップ、またチーム内の介護職に対する指導、介護サービスの質の向上や人材の定着が図られるように人材育成についての学習内容が新カリキュラムでは充実された。そこで(2)では、すでに承知のことであると思うが再度言葉の意味の確認を目的とし、人材育成方法に関する用語の説明の内容とした。

令和2年度生活困窮者救済労働支援事業費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること

科目4 基礎：新たな視点

①地域における介護実践

公開期間：令和3年3月3日～12日

井上 善行 / 日本赤十字秋田短期大学

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

求められる介護福祉士像を志向して介護福祉教育を展開するために、新カリキュラムにおいて教授が求められる地域における介護実践について理解する。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムにおける「対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上」の観点の教育上の展開 地域共生社会の実現に資する介護福祉実践の理解。 	40分
(2)	<ul style="list-style-type: none"> OJT、OFF-JT、ティーチング、コーチング、スーパービジョンなど人材育成の方法を概説する。 	20分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目①の講義の流れ

1. 「**地域における介護実践**」が教育上必要とされる**背景**とそれぞれの**意図**および**全体像**を把握する
2. 「**地域における介護実践**」の教育を展開する際に必要となる、**対象者と地域の捉え方**について考察する
3. 「**チームケアを推進するためのマネジメント**」が教育上必要とされる**背景**とそれぞれの**意図**および**全体像**を把握する

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

求められる介護福祉士像における「地域」の位置づけ

- 1 尊厳と自立を支えるケアを実践する
 - 2 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
 - 3 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
 - 4 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
 - 5 QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
 - 6 **地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる**
 - 7 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する
 - 8 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる
 - 9 **制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる**
 - 10 介護職の中で中核的な役割を担う
- +
- 5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 **高い倫理性の保持**

介護福祉士養成課程教育内容の見直しにおける「地域」の視点

②対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上

対象者の生活を地域で支えるために、多様なサービスに対応する力が求められていることから、各領域の特性に合わせて地域に関連する教育内容の充実を図る

- 「社会の理解」の教育に含むべき事項に、**地域共生社会を追加**
⇒ **地域共生社会**の考え方と地域包括ケアシステムのしくみを理解し、その**実現のための制度や施策**を学ぶ内容
- 「介護実習」の教育に含むべき事項に、**地域における生活支援の実践を追加**
⇒ **対象者の生活と地域との関わりや、地域での生活を支える施設・機関の役割**を理解し、地域における生活支援を実践的に学ぶ内容

出典：「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」について

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

「社会の理解」「介護実習」以外の地域における介護実践教育例

- **介護の基本**：対象者の地域生活の重要性、地域を意識した介護実践と対象者のQOLの関連
- **生活支援技術**：多様な環境における支援を可能にする技術の修得
- **介護過程**：家庭内・施設内だけに限定しない生活の実現の工夫
- **発達と老化／認知症の理解／障害の理解**：対象者の特性を理解した地域生活の可能性

全領域に関わる→科目間のすりあわせが重要

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

コミュニティについて

地域 area

縁／絆 common ties

社会的相互作用／社会交流

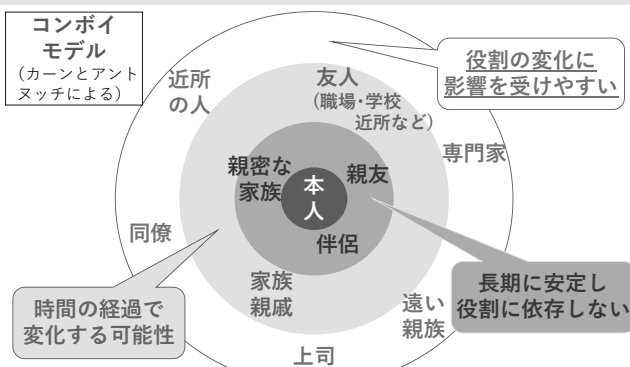
social interaction

コミュニティの力の減少 ⇨ 孤立感・疎外感
不安の増大

※バーチャル・コミュニティ：地理的近接性のないコミュニティ(SNSなど)

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

ソーシャルサポートのネットワーク



9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

生活の構造

生理的活動 (自分の心身のメンテナンス)

ADL/IADL、休養、睡眠など

社会的活動 (他者のために行為する)

学業、家事、就業、ボランティアなど

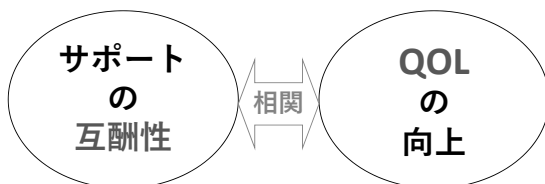
役割をもつ

余暇活動 (自由・無心になれる)

遊び、レクリエーション、娯楽、趣味など

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

ソーシャルサポートの授受とQOLの関係



11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

地域共生社会の理念

制度・分野の枠や

「支える側」「支えられる側」という

従来を超えて

人と人、人と社会がつながり

一人ひとりが生きがいや役割をもち

助け合いながら暮らしていくことのできる

包摂的なコミュニティ、地域や社会を創る

出典：地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会
最終とりまとめ

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

対象者の生活と地域の関わり

施設内・家庭内だけで
完結しない
対象者の役割づくり

13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

地域における役割の具体例

- 介護施設が存在→住民の安心感
- 介護施設が存在→地域の景観の一部
- 施設経営→地域経済の活性化
- 地域社会との交流→ダイバーシティの推進
- 対象者の存在それ自体→「世の光」

日々の介護実践で対象者から得ている「光」を
どうしたら地域の方々にも理解してもらえるか？

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

求められる介護福祉士像 における「チーム」の位置づけ

- 1 尊厳と自立を支えるケアを実践する
- 2 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
- 3 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
- 4 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる
- 5 QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる
- 6 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる
- 7 **関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する**
- 8 **本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる**
- 9 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる
- 10 介護職の中で中核的な役割を担う

高い倫理性の保持

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

介護福祉士養成課程教育内容の 見直しにおける「チーム」の視点

① チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充

介護職のグループの中での中核的な役割やリーダーの下で専門職としての役割を發揮することが求められていることから、リーダーシップやフォロワーシップを含めた、チームマネジメントに関する教育内容の拡充を図る。

※人間と社会に関する選択科目に配置されていた「組織体のあり方、対人関係のあり方（リーダーとなった場合の）人材育成のあり方についての学習」を整理

- 「人間関係とコミュニケーション」の教育に含むべき事項に、**チームマネジメントを追加**（30時間→60時間）
⇒介護実践をマネジメントするために必要な組織の運営管理、人材の育成や活用などの人材管理、それらに必要なリーダーシップ・フォロワーシップなど、**チーム運営の基本を理解する内容**

（参考 コミュニケーションに関する教育の内容を、各領域の目的に沿って整理）

- 「人間関係とコミュニケーション（領域：人間と社会）」：人間関係の形成やチームで働くための能力の基盤となるコミュニケーション
- 「コミュニケーション技術（領域：介護）」：介護の対象者との支援関係の構築や情報の共有化等、介護実践に必要なコミュニケーション

出典：「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」について

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

チームマネジメントの全体像

チームの目標の
明確化と共有

目標達成に向けた
ケアの展開
情報の統制や共有・解釈共有・
評価の共有など

モチベーション
目標達成に向けた

メンバーシップ

リーダーシップ

フォロワーシップ

キャリア開発の支援（人材育成・自己研鑽）

コミュニケーションを基盤としたチームケア

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

対象：全教員

分野Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること

科目4 基礎：新たな視点 ②チームケアを推進するためのマネジメント

公開期間：令和3年3月3日～12日

新口 春美 / 金城大学

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の目的

求められる介護福祉士像を志向して
介護福祉教育を展開するために、
新カリキュラムにおいて教授が求め
られるチームケアを推進するための
マネジメント方法について理解する。

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目の流れ

(1)	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムにおける「対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上」の観点の教育上の展開 地域共生社会の実現に資する介護福祉実践の理解 	40分
(2)	<ul style="list-style-type: none"> OJT、OFF-JT、ティーチング、コーチング、スーパービジョンなど人材育成の方法を概説する 	20分

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

チームケアを推進するために、
必要とされる人材育成に関する
用語の基本的な説明です

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

はじめに

報告書

「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて」

➡ 介護職のグループの中で中核的な役割を果たす

➡ 専門職としての役割

リーダーシップ、フォロワーシップ…その他人材育成

チームケア
を推進する
ために…

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

用語について

- ・OJT (On-the-Job-Training)**
 職場で仕事をさせながら、あるいは仕事の合間に教えるもの
 プリセプターシップ、メンターシップ、エルダー制…
- ・OFF-JT (Off-the-Job-Training)**
 職場を離れて行う教育
 職場外での研修、職場にある分野の専門家を招く

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

• **SD (Self Development)**

自己啓発

介護職に関連した研修・講習や資格取得…

• **スーパービジョン (SuperVision)**

解決したい事柄についてアドバイスをくれる人(スーパーバイザー)が、アドバイスを受ける人(スーパーバイジー)に対して定期的に適切な指導をしていくこと

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

• **ティーチング**

指示や助言によって相手に答えを与えること

• **コーチング**

相手から答えを引き出し、自己決定や自己解決を支援すること

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

• **リーダーシップ**

○リーダーシップとは、集団の目標達成に向けてなされる集団の諸活動に影響を与える過程

○ある状況のなかで、コミュニケーションというプロセスとしてフォロワーを目標に向けて動かす影響力

• **フォロワーシップ**

自律的・主体的にリーダーに働きかけ、支援する

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目5 専門基礎：教育方法の基礎_シラバスの意義及び授業計画（主な対象：新任、非常勤）

目的・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> よい授業をつくるためには、授業の技術や方法を工夫するだけでは十分とはいえません。授業を展開するためには、その授業のシラバスや授業案を十分に行うことが、より良い授業をつくるために必要不可欠なものになります。その「シラバス」や「授業案」の意義や作成手順を学びます。
講師	<ul style="list-style-type: none"> 白井 幸久／群馬医療福祉大学短期大学部
研修概要	<p>(1) シラバスの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバスの記述内容と方法 学生の学習状況を理解すること、担当する科目の位置づけを把握すること、授業の目的や到達目標を設定すること、シラバスの記述内容と方法など <p>(2) 授業案の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業案の作成方法 授業案「(導入)・(展開)・(まとめ)」など
時間数	(1)30分／(2)30分 計60分
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> 共通 1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書 ～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（福祉編）」文部科学省

教育方法の基礎では、新任の教員などが赴任した介護福祉士養成施設の大学・短期大学・専門学校で、教育や研究を始めて、キャリアを積み重ねていく一つとして、ここでは、より良い授業をつくるための方法として、「シラバスの意義及び授業計画」について学びます。

具体的には「シラバスの意義と作成方法」と「授業案の意義と作成方法」の2つに分けて学習を進めます。

「シラバスの意義と作成方法」では、第1に「シラバスの意義」、第2に、シラバスなどを組み立てるために必要なこととして、「学生の学習状況を把握すること」と「担当する科目の位置づけを把握すること」、第3に「シラバスの作成方法」で構成されています。

第1に「シラバスの意義」では、カリキュラムを構成する介護福祉士を養成するための各教科・科目などについて、目標や教材、学習指導計画、評価の概要等を記載した計画書について理解を深めます。

第2に、「学生の学習状況を把握すること」と「担当する科目の位置づけを把握すること」の2つは、より良い授業を組み立てるための第一歩といえます。具体的には、研修で使用したパワーポイントを参照してください。

第3に、「シラバスの作成方法」では、シラバスを、介護福祉士の養成校で行われる授業の年間の学習案内であって、これから何を、何のために、いつ、どのように学ぶのかを知らせるものと位置づけて、具体的な作成方法を学びます。

「授業案の意義と作成方法」では、授業案とは授業の設計図や航海図と呼ばれているものといえます。具体的には、「授業づくりと授業案」と「授業案の作成方法」の2つに分けて学習を進めます。

「授業づくりと授業案」では、授業の成り立ちとして、学習活動における教員の一連の行為としての指示や発問などについて理解を深めます。

次に「授業案の作成方法」では、研修で使用したパワーポイントで示したようになっていますが、特に演習や実習など学生自身が主体的に取り組む活動が中心となる授業があっても、説明は授業を進めるために必要不可欠なもので、授業では重要な部分です。

この説明部分では、「鍵の概念」と「構造と目的」が大切となっています。この鍵の概念では、学生に理解してもらうことが必要となる『鍵』となる内容があります。このことが明確になれば、理解しやすくなります。また、構造と目的では、授業の中で学生に示される鍵の概念は、バラバラに示されるのではなく、お互いに関連を持って、学生に『順番』をきちんと整理し、説明できるようにするとともに、何のために説明するのか、説明の『目的』をはっきりさせておくことが大切です。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

主な対象：新任、非常勤

分野Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること

科目5 専門基礎：教育方法の基礎 ～シラバスの意義及び授業計画～

公開期間：令和3年3月3日～12日

白井 幸久 / 群馬医療福祉大学短期大学部

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目(シラバスの意義)の流れ

- 1.本科目の目的～はじめに～
- 2.シラバスの意義
- 3.学生の学習状況を把握する
- 4.担当する科目の位置づけを把握する
- 5.シラバスの必要性
- 6.シラバスの作成の目的
- 7.シラバスの構成事項
- 8.シラバスの作成
- 9.まとめ

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1.本科目(シラバスの意義)の目的 ～はじめに～

教育方法の基礎では、新任の教員が赴任した介護福祉士養成施設の大学・短期大学・専門学校で、教育・研究を始めて、キャリアを積み重ねていくための一つとして、ここでは、より良い授業をつくるための方法を学びます。

- 学生の学習の状況を把握すること
- 担当する科目の位置づけを把握すること
- シラバスの作成

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2.シラバスの意義①

介護福祉士養成のための授業に求められるポイント
授業を組み立てるための基本

⇓⇓⇓

教員 → 「何を教えるのか」が問われるのではなく

⇓⇓⇓

学生 → 「何ができるようになるのか」

が求められています。

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2.シラバスの意義②

○より良い授業を組み立てるには
授業の方法や授業の技術を工夫するだけでは不十分
といえます。では、何が必要なのでしょう。

🏠 授業の前の準備が重要です。

そのためには、授業のシラバスや授業案を十分に組み立てる
ために必要なことは、基本的には以下の事柄になります。

- ・学生の学習の状況を理解する
- ・担当の科目の位置づけを把握する

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.学生の学習状況を把握する

A) 授業前に学生が、どの程度の知識を習得しているのか
を把握する。

B) 授業の期間内に学生がどの程度の能力を習得するのか。

⇓⇓⇓

C) 学生が、どの程度の知識や技能を習得しているかを理
解することが必要なのか。

⇓⇓⇓

授業を展開する方法を考える

D) 学生が、どの程度の知識や技能、態度を身につけな
ければならないでしょうか。

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 担当する科目の位置づけを把握する

A) どのような学生が受講していて、どのような力を身につけさせるか。

- ・この視点から授業を組み立てることを考えましょう。



B) 担当する授業科目がカリキュラム体系の中で、どのように位置づけられているのかを把握する。

- ・基本的な科目情報を把握する。
例えば、必修科目・選択科目など、それぞれの科目との関連性、学生の履修状況を把握する。

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. シラバスの必要性

A) 担当する授業科目で、習得させるべき知識・技術・態度は何かを判断して、それを授業を組み立てるときに、盛り込むことが必要になります。

- ・ここで必要なことは、カリキュラムを無視したような独りよがりな授業にならないことが必要です。

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

6. シラバスの作成の目的

A) シラバスとは

学校などで行われる授業の年間の学習案内であって、これから何を、何のために、いつ、どのように学ぶのかを知らせるものです。



- ・教員と授業のはじめに学生に配布する授業計画のことです。
- ・これは、教員と学生との契約といえます。

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

6. シラバスの作成の目的

B) 授業の目標を明らかにし、授業の内容を統計立て、授業法を明示することです。

C) これらのことを公開し、自己点検を行ったり、学生による授業評価を受ける際の資料となります。

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

7. シラバスの構成事項

養成校で配られたシラバスがあれば
手元に用意してください。

シラバスの構成事項

- ① 授業のタイトル (科目名)
- ② 授業の種類 (講義、演習、実習など)
- ③ 授業の回数 (時間数、単位数)
(授業期間、配当学年、授業人数 (定員))
- ④ 授業の目的及びねらい

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

7. シラバスの構成事項

- ⑤ 授業終了時の到達課題 (到達目標)
- ⑥ 授業全体の内容の概要
- ⑦ 単位認定の方法及び基準
(試験やレポートの評価基準など)
- ⑧ 使用テキスト・参考書
- ⑨ 授業の日程と各回のテーマ (講義主題)、
内容、授業方法など

※ 事前・事後の自宅学習も含めて考えましょう。

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成①－ 1

学生の学習状況と担当科目の位置づけを把握した上で、授業の目的と到達目標を設定しましょう。

⇓⇓⇓

教員が教えたい知識や技能をリストアップするのではなく、学生が習得すべき内容を具体的に設定することが大切です。

13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成①－ 2

学生が習得すべき内容

⇓⇓⇓

授業で得た知識・技能・態度を日常生活に結びつけたり、介護現場へ応用する能力を身につけることも含まれています。

到達目標は、学生を意味上の主語として「～ができるようになる」という形式で書くことが基本となります。

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成①－ 3

⇓⇓⇓

教員の立場から理想的な目標を設定するのではなく、学生の視点に立って、どのような効果をあげれば単位習得できるのかを分かりやすく記述します。

⇓⇓⇓

ここで課題となるのが、学生に求められる学習の量（必要な学習時間）です。

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成①－ 4

⇓⇓⇓

📖 学習時間は、授業時間だけではなく、予習や復習の時間を含めて考えましょう。

⇓⇓⇓

授業の組み立てでは、授業時間外の学習を重視しましょう。

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成②

授業の目標と到達目標が決まれば、授業方法を選択しましょう。

⇓⇓⇓

次に、一回ごとの授業計画を立てるとともに、成績評価を設定します。

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8. シラバスの作成③

授業の実施方法、評価方法などが決まれば、このことをシラバスに記述します。

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

9. まとめ

授業を進めるために



学生の置かれている状況や変化を理解する。



教員が「何を教えるのか」ではなく、学生が「何ができるようになるか」に重点を置いて作成することです。

19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目(授業計画)の流れ

- 1.本科目の目的～はじめに～
- 2.授業づくりと授業案
- 3.授業行為について
- 4.授業における説明スキル
- 5.授業案の作成方法
- 6.まとめ

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1.本科目(授業計画)の目的 ～はじめに～

教育方法の基礎では、新任の教員と新任の非常勤講師が赴任した介護福祉士養成施設の大学、短期大学、専門学校で、教育・研究を始めてキャリアを積み重ねていくための1つとして、ここでは、より良い授業をつくるための方法を学びます。

- 授業づくりと授業案
- 授業案の作成方法

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2.授業づくりと授業案

1) 授業はわかりやすく・楽しく

- 教員のパーソナリティ
- 教材の工夫
- 学習活動の工夫
- 授業の展開の工夫

22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2.授業づくりと授業案

2) 授業の成り立ち ①

教員の授業行為

学習活動における教員の一連の行為であり、**指示**や**発問**で始まります。

教育内容

てんこ盛りは授業が分からなくなります。

教材

具体的で分かりやすく。

学習者(学生)の学習活動

23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 授業行為について

発問とは

- 授業の骨格を決める問といえます。
- 発問は「フルセンテンス」で話す言葉に書きましょう。

例えば ➡ 「なぜ食事をするのか」

24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 授業行為について

指示とは

- 学習活動を指示するのは教員の言葉です。
- 指示づくりのコツ
例えば ➡
「これから大切なことを4点述べます」
※ この言葉がけで学生は準備します。

25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 授業行為について

ここでは、小学校の教員の研修で示されるものですが、参考にしてください。

- **意図的にAをさせたいならBと言う。**
 - ➡ 「先生の方を向いてください」と指導するよりも
「おへそをこっちに向けてください」
 - ➡ 「G班静かにしてください」
「G班の聞き方が素晴らしいので、皆さんまねしてほしいな」

26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 授業行為について

教材

- 重要な説明はレジュメ（プリント）を配布しましょう。
- 声にだして読むとよいでしょう。

学生の学習活動

- ➡ グループワーク、作業、ロールプレイなど

27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 授業における説明スキル

📖 授業における説明は、学習内容がわかるように述べましょう。

- 1) 説明のスキルを成り立たせるもの
- 2) 学生に教員の説明に耳を傾かせる工夫
- 3) 説明する内容を構成する基本的な手立て

28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 授業における説明スキル

📖 1) 説明のスキルを成り立たせるもの

- 短く簡単な言い回しで述べましょう
- 大切な部分がはっきりと分かるように教材・教具の提示を工夫しましょう
- 意識的に身振り、手振りなど非言語的活動を取り入れましょう

29 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 授業における説明スキル

📖 2) 学生に教員の説明に耳を傾かせる工夫

- 話す内容は、学生の理解度に合うものにしましょう
- 学習のねらいに沿った説明にしましょう
- 学生に理解させたい、考えさせたい部分を明確にしましょう
- 日常生活に関連するエピソードを取り上げましょう

30 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 授業における説明スキル

- 📌 3) 説明する内容を構成するための基本的な手立て
＜教材研究を通して＞
- 説明する柱立てを決めましょう
 - ➡ 中心となる説明内容の部分がどこなのかを明確にしましょう
 - 補助的な説明事項を決めましょう
 - ➡ 説明内容の中心となる部分に導くための補助的な説明事項を整備しましょう

31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

1) シラバスと授業案

シラバス

- カリキュラムを構成する各教科・科目などについて、目標や教材、学習指導計画、評価の概要等を記載した計画書のことです。
 - ➡ 学生に対して、学習の到達目標等を意識させて、主体的な学習を促します。

授業案

- 指導案のことです。また、授業の設計図、航海図といわれています。
- 授業の質を高め、授業の方向をたしかなものにします。

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

2) 授業の導入部で考えること①

- 授業の導入部では
 - ⇓⇓
- 授業の冒頭から理論を展開するのではなく
 - ⇓⇓
- 前回の授業の要点を振り返る
- 今回の授業の概要を説明する

33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

2) 授業の導入部で考えること②

- 授業のテーマや授業の流れをレジュメ（プリント）にする、または板書します
- 📌 導入部分では、学生に本日の授業の全体像は把握できるようにする
- 今回の授業のポイント
 - 何を学ぶことができるのか

34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

3) 授業のまとめの部分で考えること

- 授業の流れを振り返る ➡ 授業のまとめのレジュメを配布
 - 次回の授業の予告 ➡ 次回の授業のテーマに即した課題
- 📌 学生が
授業時間以外に学ぶことができるようにする
- 授業を安心して進めるために

35 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

4) 授業案の単元・目標

- 単元を定める
指導案のテーマを定める
- 目標を設定する
指導を通して育てたい学生の姿を具体的に考える

📌 何を学ばせたいのか

📌 何を身につけさせたいのか

例えば ➡ 「身体の負担の少ない移乗・移動の介護を行うことができる」
「移乗の原則を理解する」

36 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

5) 授業の展開方法（教育項目）①

教育項目

導入 → 展開 → まとめ

授業時間

大学・短期大学・専門学校では
授業時間は90分間

- ・ 導入部分 10分～15分
- ・ 展開部分 60分程度
- ・ まとめ部分 10分～15分

37 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

5) 授業の展開方法②

授業内容

- ・ 実習・演習（実験）など学生が主体的に取り組む活動が中心となる実技の授業であっても、教員の説明が全くないという授業はありません
- ・ 説明は、授業を進めるに当たって必要不可欠なものであり、しかも、授業において大切な部分です

38 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

5) 授業の展開方法③

🔑「鍵の概念」と「構造と目的」です。

「鍵の概念」

- ・ 授業には、学生に理解してもらいたい「鍵」となる内容があります。このことが明確になっていないと、授業は単なるおしゃべりになってしまいます。

「構造と目的」

- ・ 授業の中で学生に提示される鍵概念は、バラバラに存在するのではなく、お互いに関連をもっています。学生がより説明内容を理解できるように話す「順番」を整理します。
- ・ また、何のために説明するのか、説明の「目的」をはっきりさせておく必要があります。

39 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

6) 授業案の作成方法①

時間	展開	ねらい	講師の活動	学生の活動
各項目に要する時間を記入 例) 10分～15分	導入 ・ 授業の展開に沿って行う学習内容を明示する ・ 課題を提示する 例) 食事をする時の姿勢	・ 何故、それを行うのか意図を記入する ・ どのようにして目標に到達するのか	・ 発する言葉を明示する ・ 受講生に対して主な発問を具体的な言葉で明示する ・ 指示や発問を具体的に明示する	・ 受講生の活動 ・ 予想される受講生の反応を具体的に明示する

40 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

6) 授業案の作成方法②

時間	展開	ねらい	講師の活動	学生の活動
各項目に要する時間を記入	展開 ・ 目標に到達させるために何を入れ込むのか、何をおさえるのか	・ 根拠を記述する	例えば ・ 教員が介護技術のデモンストレーション（見本）を見せる ・ 見本を2回見せて、学生にメモをとらせる ・ 何故そうするのか。介護技術の根拠を考え、理解させる	・ 学生の活動 ・ 予想される受講生の反応を具体的に明示する。

41 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 授業案の作成方法

6) 授業案の作成方法③

時間	展開方法	ねらい	講師の活動	学生の行動
各項目に要する時間を記入する	まとめ ・ 授業の振り返り ・ 次回の予告			

42 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

6. まとめ

- 1) 授業案を作成する方法を学ぶ
 - 教員の教授行為 ➡ 指示や発問から始まる
- 2) 教育内容
 - てんこ盛りは学生にとって授業内容が理解できなくなる

43 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

参考文献等について

- 共通1) 「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書 ～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」
- 「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（福祉編）」文部科学省
- 「まんがFDハンドブック おしえてFDマンVol【新任教員編】」京都FD開発推進センター
- 「教員養成に関する資料（平成30年度用）」（株）日本医療企画

44 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

◆科目6 専門基礎：授業の評価方法_授業評価の基礎（主な対象：新任、非常勤）

目的・ねらい	・授業の実施が終了すれば、その教育効果を検証するために「成績評価」を行い、学生の理解度を把握することで、次年度の講義の改善等を図るために行います。その成績評価の基礎を学びます。
講師	・白井 幸久／群馬医療福祉大学短期大学部
研修概要	(1) 成績評価の目的と機能 ・成績評価の目的 ・教育・学習評価の種類（講義、演習、実技など） ・教育評価機能など (2) 成績評価の方法と特徴
時間数	(1)30分／(2)30分 計60分
参考文献	・共通1)「介護福祉士の教育内容の見直しを踏まえた教授方法等に関する調査研究事業報告書 ～介護福祉士養成課程のカリキュラム改正に対応した介護教員講習会の教育内容等について～」 ・「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説（福祉編）」文部科学省

授業の評価方法では、各介護福祉士の養成校の学習活動の特質、評価の観点や評価の基準、評価の場面や学生の発達の段階に応じて、学生との対話、観察すること、ノート、学習カード、レポート、演習、実技、ペーパーテスト、質問紙など様々な評価方法の中から、それぞれの学習場面において、学生の学習状況などを評価ができる方法を考えていきます。

具体的には、授業評価の基礎として「成績評価の目的と機能」と「成績評価の方法と特徴」の2つに分けて学習を進めます。

「成績評価の目的と機能」では、第1に「基準による評価」、第2に「実施段階による評価」、第3に「評価する場合の注意点」、第4に「授業の到達目標と評価基準」で構成されています。

この「成績評価の目的と機能」では特に「基準による評価」と「実施段階による評価」の2点について説明します。

第1に「基準による評価」では、「評価の必要性」と「評価方法の種類」の2つからなっています。「評価の必要性」では、介護福祉士養成の各科目の学習指導評価については、学習指導の段階に応じて、学生の学習状況を適切に把握することを学びます。

第2に「実施段階による評価」では、評価を大きく分けると、「基準による評価」と「実施の段階による評価」の2種類に分けられています。

- ① 「基準による評価」には、「相対評価（他人と比べる）」、「絶対評価・到達度評価（教育目標と比べる・他人と比べない）」、「個人内評価（学生自身と比べる）」の3つからなっています。
- ② 「実施段階による評価」には、「診断的評価（一人ひとりの学生に適した指導を行うために、指導前に学生の状況を把握する方法）」、「形成的評価（学習指導の過程で学習の到達度を評価する方法）」、「総括的評価（指導後のまとめとして行う方法）」の3つからなっています。

「成績評価の方法と特徴」では、授業の場面や学習内容に応じて、以下のいくつかの方法を用いています。例えば、授業の中で学生の発言や行動に対して評価の言葉を繰り返すことや、机の間を回って指導を行う場合、学生のノートやプリント(ワークシート)の記入状況を見て、支援を行うとともにチェックなどを入れて評価を行うことができます。また、授業の終了後に、ノートやプリント(ワークシート)を集めて、コメントを付けて、評価を学生に伝えることができます。このように、いくつかの方法を用いて多面的に評価することが大切なことといえます。いくつかの評価方法を以下のように示します。

「観察法(学生の活動状況や態度などを観察します)」、「自己評価(学生自身が、自分の学習を振り返ります)」、「相互評価(学生同士がお互いを評価し合います)」、「パフォーマンス評価(習得した知識や技術を使いこなす能力を評価します)」、「ポートフォリオ評価(教員が、学生の学習活動の過程や成果などを計画的に集めたもの)」、「ペーパーテスト(教員が学生の学習状態を捉えて作成したテスト)」などの6つがあります。

令和2年度生活困窮者救済費等補助金(社会福祉推進事業分)
「介護福祉士養成施設の教員の教育力向上に関する調査研究事業」
介護福祉士養成課程の教員の教育力向上に向けたモデル研修

主な対象：新任、非常勤

分野Ⅱ 介護教員講習会の基礎分野に関すること

科目6 専門基礎：授業の評価方法 ～授業評価の基礎～

公開期間：令和3年3月3日～12日

白井 幸久 / 群馬医療福祉大学短期大学部

1 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目(授業評価の基礎①)の流れ

はじめに

1. 評価の必要性
2. 評価方法の種類
3. 基準による評価・実施段階による評価
4. 指導と評価の一体化
5. 介護福祉士養成の領域
6. 評価する場合の注意点
7. 授業の到達目標と評価基準
8. まとめ

2 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目(授業評価の基礎①)の目的 ～はじめに～

ここでは、各介護福祉士養成校の学習活動の特質、評価の観点や評価の基準、評価の場面や学生の発達段階に応じて、学生との対話、観察すること、ノート、学習カード、レポート、演習、実技、ペーパーテスト、質問紙などさまざまな評価方法のなかから、それぞれの学習場面において、学生の学習状況などを評価できる方法を考えていきます。授業評価の基礎について、以下の二点を学びます。

- ①評価方法
- ②評価方法の特徴

3 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の必要性

- 介護福祉士養成各科目の学習指導の評価は、学習指導後の学生の状況を記録するために行うものとして捉えていますか。
- では、評価がなぜ必要なのでしょう。

学習指導の段階に応じて、学生の学習状況を適切に把握することで何ができるのか。

- ☞ ◆ 教員が自分自身の授業の進め方の見直しができます。
- ◆ 個に応じた指導の充実が図れます。
- ◆ 学生自身が自分の学習を見つめ直し、その後の学習に役立てることができます。
- ◆ 教員は学習評価に関する妥当性や信頼性を高めるとともに、説明責任を果たすことが大切です。

4 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2. 評価方法の種類

- 評価は大きく分けると、「**基準による評価**」と「**実施の段階による評価**」の二種類に分けられています。
- 何のために評価を行うのか、その目的を明らかにすることから始めましょう。
- まず最初に「**基準による評価**」から考えてみます。

1. 評価方法①～基準による評価～
ここでは、**相対評価**（他人と比べる）、**絶対評価・到達度評価**（教育目標と比べる・他人と比べない）、**個人内評価**（学生自身と比べる）
2. 評価方法②～実施段階による評価～
ここでは、**診断的評価**、**形成的評価**、**総括的評価**
3. **指導と評価の一体化**

5 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. 評価方法①～基準による評価～

基準による評価

- A) **相対評価**（他人と比べる）
相対評価とは、学生の属する集団の成績水準に基づいて、個人の成績を評価する方法で、一般的な5段階の評価や偏差値に該当します。

6 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.評価方法①～基準による評価～

B) 絶対評価・到達度評価

(教育目標と比べる・他人と比べない)

教育目標などを基準として、どこまで達成しているのかを評価する方法です。

評価表には、教育目標から到達度が示され、「できる、努力が必要、できない」などの段階評価が用いられます。

C) 個人内評価 (学生自身と比べる)

個人内評価では、講義の開始時の知識や技術を終了時と比べて、個人のなかでどれだけ成長したかを評価します。

7 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.評価方法②～実施段階による評価～

実施段階による評価

D) 診断的評価

診断的評価とは、一人ひとりの学生に適した指導を行うために、指導前に学生の状況を把握する方法です。

☞ 学習の前提となる要因

基礎的な知識や技術が備わっていますか?

☞ 学習内容に関する「興味」・「関心」の傾向

この傾向を知ることによって

➡ 単元の授業案の作成や授業の構想の資料となります。

8 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.評価方法②～実施段階による評価～

E) 形成的評価

形成的評価とは、学習指導の過程で学習の達成度を評価する方法です。

☞ この形成的評価によって学習活動と指導の方法を修正することがあります。

- ・ 教員は、授業中の学生の様子を観察しながら、適切な声掛けをします。
- ・ 授業の進め方を修正する場合があります。
- ・ 補充指導を行う場合があります。

☞ 上記のように、形成的評価と指導が一体的に授業が展開されることが大切です。

☞ 単元の途中でも、形成的評価を用いて、次に続く指導の改善と個別の支援に取り入れていくことが必要です。

9 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.評価方法②～実施段階による評価～

F) 総括的評価

総括的評価は、指導後のまとめとして行います。

☞ 単元等の学習を総合的に評価する方法です。

☞ この評価によって、以降の学習や指導に役立てることにつながります。

10 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3.評価方法②～実施段階による評価～

実施段階による評価は、

「**診断的評価**」「**形成的評価**」「**総括的評価**」
の**3つの分類**になっています。

☞ この3つの分類は、ベンジャミン・ブルーム (Benjamin Bloom) によって提唱された。

- ・ ベンジャミン・ブルーム (Benjamin Bloom)、アメリカの心理学者 (1913年～1999年)
- ・ 1956年に「教育目標の分類学：認知領域」を発表されました。
- ・ このなかで、教育目標を「知識」、「理解」、「応用」、「分析」、「統合」、「評価」の6つに分類されました。

11 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 指導と評価の一体化

● 学習指導と評価

⇓⇓⇓

● 授業案などの作成 (Plan)

⇓⇓⇓

● 授業案を踏まえた指導の実施 (Do)

⇓⇓⇓

● 学生の学習状況や授業などの評価 (Check)

⇓⇓⇓

● 授業内容などの改善 (Action)

12 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

4. 指導と評価の一体化

PDCAサイクルで繰り返し行われていく
ことが必要なことです

🏠 このサイクルを機能させていくことが
評価の場面・方法や時期を工夫する
↓ ↓ ↓

評価結果を学習指導の工夫・改善の
工夫・改善に生かすことが必要です

・一連の評価活動が学習のプロセスの一部となっています。

※「社会福祉士学校及び介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針について」
(第9次改正 平成30年8月7日、30文科高第327号、社援発0807第3号)

13 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 介護福祉士養成の「領域」 授業評価の基準 ①

法第40条第2項第1号の介護福祉士学校関係

領域「人間と社会」の目的

- 福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。
- 人間関係の形成やチームで働く力を養うための、コミュニケーションやチームマネジメントの基礎的な知識を身につける。
- 対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。
- 介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。
- 介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力及び豊かな人間性を養う。

14 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 介護福祉士養成の「領域」 授業評価の基準 ①

法第40条第2項第1号の介護福祉士学校関係

領域「介護」の目的

- 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
- 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。
- 本人、家族等との関係性の構築や、チームケアを実践するためのコミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。
- 対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。
- 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
- 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。

15 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 介護福祉士養成の「領域」 授業評価の基準 ①

法第40条第2項第1号の介護福祉士学校関係

領域「こころとからだのしくみ」の目的

- 介護実践に必要な根拠となる、心身の構造や機能及び発達段階とその課題について理解し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。
- 認知症や障害のある人の生活を支えるという観点から、医療職と連携し支援を行うための、心身の機能及び関連する障害や疾病の基礎的な知識を身につける。
- 認知症や障害のある人の心身の機能が生活に及ぼす影響について理解し、本人と家族が地域で自立した生活を継続するために必要とされる心理・社会的な支援について基礎的な知識を身につける。

16 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

5. 介護福祉士養成の「領域」 授業評価の基準 ①

法第40条第2項第1号の介護福祉士学校関係

領域「医学的ケア」の目的

- 医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。

17 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

6. 評価する場合の注意点

評価で心がける基本は、**客観的で公平**であることが求められています。

🏠 評価が客観的で公平であれば、学生自身が
妥当と考え、納得できるはずですが。
では、どのようにすればよいでしょうか。

- シラバスに記載することから始まります。
👉 科目の特質に基づき評価基準を明確にすること。
- 学生に評価基準を説明し、了承をえることです。
👉 初回の授業で、評価基準を明らかにすることで、学生の学ぶ方向性が明確になります。

18 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

7.授業の到達目標と評価基準

授業の到達目標とは、授業を通じて、教員が到達したい理想を示すものではなく、学生が到達すべき水準を明確に示すことが重要となります。

- ☞ そのために必要なことは、
学生を主語にして、学習内容を具体的に、
わかりやすく書くことだといえます。

⇓⇓⇓

- 授業の到達目標や評価基準を明確にすることで、学生の学習意欲を高めることにつながると考えます。
- ➡ 教員が学生に示すことで、「評価の公平性を担保」することになります。

19 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

7.授業の到達目標と評価基準

厳格な評価とは

厳格な評価をするためには、試験を難しくし、合格するための最低点を高くすることではありません。

- ➡ このことは、多くの学生を意図的に落とすことにはなりません。

⇓⇓⇓

シラバス等で示した評価方法（到達目標・評価基準）を厳格に守って公平性・客観性を保つことにあります。

20 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

8.まとめ

ここでは、各介護福祉士養成校の学習活動の特質、評価の観点や評価の基準、評価の場面や学生の発達段階に応じて、学生との対話、観察すること、ノート、学習カード、レポート、演習、実技、ペーパーテスト、質問紙などさまざまな評価方法のなかから、それぞれの学習場面において、学生の学習状況などを評価できる方法を考えていきます。

- 1) 評価方法の種類
 - 評価は大きく分けると、「基準による評価」と「実施の段階による評価」の二種類に分けられています。
- 2) 授業の到達目標と評価基準
 - 学生が到達すべき水準を明確に示すことが重要となります。

21 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目（授業評価の基礎②）の流れ

はじめに

1. 評価の具体的な方法
2. 単元における評価
3. まとめ

22 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

本科目（授業評価の基礎②）の目的 ～はじめに～

ここでは、各介護福祉士養成校の学習活動の特質、評価の観点や評価の基準、評価の場面や学生の発達段階に応じて、学生との対話、観察すること、ノート、学習カード、レポート、演習、実技、ペーパーテスト、質問紙などさまざまな評価方法のなかから、それぞれの学習場面において、学生の学習状況などを評価できる方法を考えていきます。
授業評価の基礎について、以下の二点を学びます。

- ① 評価方法
- ② 評価方法の特徴

23 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法

授業評価は、学習場面や学習内容に応じて、いくつかの評価方法を用いて行うことが必要になります。

具体的には（授業中では）

- 学生の発言や行動に対する、教員の評価を繰り返しています。
- 机間の指導では、学生のノートやワークシート（レジュメ）の記入状況をみて行います。
- 授業の終了後に、ノートやワークシート（レジュメ）を回収し、コメントを付けて学生に戻すことで、評価を伝えることができます。

24 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法

主な評価の方法としては以下の方法が考えられます。

- ① **観察法** ➡ 学生の活動の活動状況や態度などを観察します。
- ② **自己評価** ➡ 学生自身が、自分の学習を振り返ります。
- ③ **相互評価** ➡ 学生同士がお互いを評価し合います。
- ④ **パフォーマンス評価** ➡ 習得した知識や技術を使いこなす能力を評価します。
- ⑤ **ポートフォリオ評価** ➡ 教員が、学生の学習活動の過程や成果などを計画的に集めたもの。
- ⑥ **ペーパーテスト** ➡ 教員が学生の学習状態を捉えて作成したテストです。

25 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法

- 評価を適切に行うためには、できるだけ多様な評価を行うとともに、多くの情報をえることが大切です。
- 多様な評価を行うことだけに追われてしまえば、十分に学習指導ができなくなるおそれがあります。
- 学生の学習状況を適切に評価を行い、その評価を指導に生かすことが重要になります。

26 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法

- 後から説明しますが、ペーパーテストは、評価の1つの方法としては有効ですが、このペーパーテストで得られる結果が、学習状況の全てを表すものではありません。

⇓⇓⇓

- そこで、例えば、ワークシートなどへの記述内容は、「知識・理解」の評価だけでなく、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」の評価にも活用することが可能であり、学生の資質や能力を多面的に把握できるように工夫し、活用することが考えられます。

27 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法

ここでは、

- ①観察法
- ②自己評価
- ③相互評価
- ④パフォーマンス評価
- ⑤ポートフォリオ評価
- ⑥ペーパーテスト

を詳細に見てみましょう。

28 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ①観察法

①観察法

- 教員が、さまざまな学習場面で、学生の活動状況や態度を観察することです。
- さまざまな学習場面などの観察では、評価に重要な資料となります。

例えば

➡ 「生活支援技術」の「自立に向けた家事」のなかで、調理実習で、『関心・意欲・態度』を学生の行動を観察で評価する場合。

例えば、評価基準を「見本を見て、材料を適切な大きさに切る」と設定したとします。

29 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ①観察法

⇓⇓⇓

教材を切るという学生の行動を観察するとともに、評価基準に照らして、その状況を評価することになります。

⇓⇓⇓

評価するための観察に重点が置かれてしまえば、適切な学習指導ができなければ、何のために評価するのが、分からなくなってしまいます。

- 評価すべき行動や状態を規定しておく必要があります。
- 学生の行動を予測して、つまづきに対応できるようにしなければなりません。

30 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ②自己評価

②自己評価

- 自己評価では、学生自身が評価する主体となって、自分自身の学習を振り返ることで。
 - 学んだことを自分から評価することによって、主体的に学習できるように促します。
- ⇓⇓⇓
- 学生は、教員が学生自身を受け入れてもらっているという、思いがなければなりません。
 - 自己評価で学生自身が思ったことや、気づいたことを率直に話すことができなくなることもあります。

31 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ②自己評価

- 学生が否定的な自己評価があったとしても、教員は、認めたり、励ましたりすることによって、次の学習につなげられるような自己評価になるとよいと思います。
- ⇓⇓⇓
- 学生と教員の良好な人間関係があることによって、適切な自己評価つながるといえます。

32 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ③相互評価

③相互評価

- 相互評価では、学生同士がお互いを評価し合う方法です。
- 大切なことは、学生がお互いに信頼して、認め合うことが、相互の評価が成立することにつながります。

33 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ④パフォーマンス評価

④パフォーマンス評価

- パフォーマンス評価では、習得した知識や技術を使いこなす能力を評価します。
- 評価の方法では、日常的な観察や対話による評価、また、筆記テストや実技テストによる評価などが含まれます。

34 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ⑤ポートフォリオ評価

⑤ポートフォリオ評価

- 教員が学生の学習活動の過程や成果などの記録や作品を計画的に集めたものです。
- このポートフォリオを用いて、学習のプロセスや成果を長期的に評価する方法です。
- 学生同士の相互評価や教員のコメントなども加えながら、多面的に評価を行います。
- 長期の指導計画を実施する場合や、「思考力・判断力・表現力」のような長期間かけてはぐくまれる能力の評価には有効な評価となっています。

35 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

1. 評価の具体的な方法 ⑥ペーパーテスト

⑥ペーパーテスト

- 教員が学生の実態を的確に捉え、効果的な指導をするために作成することがテストです。
- ⇓⇓⇓

- 単元ごとや1単位時間ごとに行う小テストと期末テストなどの定期テストがあります。
- テストの結果をもとにして、次の授業の改善に結び付けていくことが重要といえます。

36 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

2. 単元における評価

単元目標と評価基準の設定

☞ 単元目標は、その単元の学習活動を通じて学生たちが身につけさせようとする目標です。

☞ 資質や能力を明確にするために、観点別に設定しましょう。

⇓⇓⇓

☞ 各科目などの介護福祉士養成のカリキュラム内容をしっかりと読み、学生の実態把握のための診断的評価を取り入れ、適切な目標を設定しましょう。

⇓⇓⇓

☞ 目標の現実状況を判断する評価基準を設定します。

37 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会

3. まとめ

- 評価には、「観察法」、「自己評価」、「相互評価」、「パフォーマンス評価」、「ポートフォリオ評価」、「ペーパーテスト」などがあります。
- 評価を適切に行うためには、できるだけ多様な評価を行うとともに多くの情報をえることが大切です。
- 単元目標は、その単元の学習活動を通じて学生たちが身につけさせようとする資質や能力を明確にするために、観点別に設定しましょう。

38 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会